

第1学年 技術・家庭科 学習指導案

日 時 平成19年 7月 3日(火) 5校時
学 級 1年1組(男子10名 女子11名 計21名)
指導者 羽澤 美紀

1. 題材名 日常着の手入れ 「A生活の自立と衣食住(開隆堂 家庭分野)」

2. 題材について

(1) 題材について

この題材は、基礎的・基本的な内容の「中学生の栄養と食事」「食品の選択と日常食の調理の基礎」「衣服の選択と手入れ」「室内環境の整備と住まい方」の4項目で構成されている。

ここでは「衣服の選択と手入れ」の中の「衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修」について学習させ、日常の衣生活と関連づけて理解を深め、さらには手入れに関する基礎的な知識と技術を習得させることができるようにすることをねらいとしている。

(2) 生徒について

一般的に子どもたちの体験不足が問題視される中で、この学年の生徒は多くの体験をしてきていることがアンケート結果から読み取ることができる。衣にかかわる仕事の経験についても、洗濯のしかたについてはほとんどの生徒が「できる」もしくは「できると思う」と答えている。実習や作業にも積極的である。

しかし、実生活の中で「日常着の適切な手入れと補修に関する仕事」は、家族に任せている生徒がほとんどであった。生活の自立を目指すうえで、自分ができることは自分で積極的に実践する態度をもたせていくことが必要である。

(3) 指導について

日常着の手入れの学習では、「洗濯機による洗濯のしかた」の実習を選ぶ場合もあるのだが、ほとんどの生徒が洗濯の経験をしていることが分かった。そこで、生活の中で経験の少ない「しみ抜き」の実習に取り組みせようと考えた。実生活の中で「しみ」を衣服につけた場合、自分で処置するのではなく家族まかせになってしまうことが多いと考えられる。「しみ抜き」の方法を知らせるとともに、時間を置かずしみを取り除く大切さにも気付かせ、自分でも「しみ抜き」ができることを実感させたい。

「しみ抜き」の実習は初めて体験する生徒が多い。教師主導で「しみ抜き」の方法を知らせるのではなく、生徒自身が今までの体験の中から考え、実習につなげさせたい。実習した結果をもとに「しみ抜き」の方法を知ることにより、自分の衣生活についても関心をもち、生活の自立に生かすことができるように指導したい。

3. 題材の到達目標

(1) 生活や技術への関心・意欲・態度

日常着の手入れについて関心をもって学習活動に取り組もうとしている。

(2) 生活を工夫し創造する能力

しみ抜きの方法についてどのようにしたらよいか考え、工夫して取り組むことができる。

(3) 生活の技能

汚れや補修の程度に応じた手入れができる。

(4) 生活や技術についての知識・理解

繊維の性質から、日常着の手入れに関する基礎的な知識を理解できる。

4. 指導計画と評価方法

日常着の手入れ (4 時間)

《観 点》 = 《関：生活や技術への関心・意欲・態度 創：生活を工夫し創造する能力
技：生活の技能 知：生活や技術についての知識・理解》

評価の方法 時間・内容		具体の評価規準			《観 点》 評価手段	
		A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：Bへ達するための支援		
手 入 れ の し か た を 調 べ よ う	1	衣服を快適に着用するためには手入れが必要であることを気付く。	日常行っている手入れの方法を3つ以上挙げようとしている。	日常行っている手入れの方法を考えようとしている。	衣服の汚れに着目させ、手入れの必要性に気付かせる。	《関》 学習シート 観察
		繊維の種類と布の性質をまとめる。	繊維の種類、布の構成、布の性質について知り、身近な繊維の具体的な活用例に結びつけて理解できる。	繊維の種類、布の構成、布の性質について理解できる。	教科書や資料から繊維の性質を見つけさせる。	《知》 学習シート
衣 服 の 手 入 れ と 補 修 を し よ う	2	本時 (別紙参照)				
	3	衣服の手入れの実習をする。	汚れの種類や布地の材質に適した方法で、布をきれいにすることができる。(しみ抜き、ブラシかけ)	汚れの種類や布地の材質に適した手入れができる。(しみ抜き、ブラシかけ)	前時の学習内容を想起させ、気付かせる。	《技》 実習観察 学習シート
	4	衣服の補修の実習をする	縫い目の大きさを適切に正しい手順ですばやくまつり縫いができる。	すそあげ等の衣服の補修のためにまつり縫いができる。	教師の師範や資料をもとに、手順を確認させながら取り組ませる。	《技》 実習観察 学習プリント

5. 本時について

(1) 目標

- ア 日常着の手入れについて関心をもってしみ抜きの学習活動に取り組もうとしている。《生活や技術への関心・意欲・態度》
- イ しみ抜きに工夫して取り組むことができる。《生活を工夫し創造する能力》

(2) 評価方法

評価の方法 時間・内容			具体の評価規準			《観点》 評価手段
			A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：Bへ達するための支援	
衣服の手入れと補修をしよう	2	衣服のしみの手入れの方法を考える。	自分の選んだしみ抜き方法を実践し、他の方法と比較しながら、よりよいしみ抜き方法を考えようとしている。	自分の選んだしみ抜き方法を実践しようとしている。	グループのリーダーとしみ抜き方法の割当てについて打ち合わせを行い、自発的に実践しようとする意欲をもたせる。	《関心・意欲》 観察 学習シート
			他の発言等から新たな工夫を見つけ、取り組むことができる。	しみ抜きに工夫して取り組むことができる。	既習事項（取り扱い絵表示等）を参考にし、気付けさせる。	

(3) 指導の構想（研究に関わって）

- ア 基礎的・基本的な内容の定着を図る繰り返し、振り返り学習の設定と工夫
 - ・導入段階で、本時にかかわる既習内容や経験を想起させる場面を設定した。
 - ・本時の試行の活動を受け、次時に本実習を行うことで学習内容の定着が図られるようにした。
- イ 評価規準表を有効に活用した目標と指導と評価の一本化
 - ・具体の評価規準Bに沿った適切な学習課題を設定する。また、それがまとめと自己評価に反映されるように考慮する。
 - ・学習内容や自己評価を学習プリントに適切に位置づけることで、本時の学習内容が把握できるようにする。
- ウ 能動的なかわり合いの在り方
 - ・グループ毎の話合いや実習の時間を設け、個々の意見をもとにグループ内で課題の解決を目指しながら、お互いの考えを交流させるとともに、全員で学習内容を共有させるようにする。

(4) 本時の展開

段階	学習の流れ = 生徒の意識	学 習 活 動	
		生徒の活動	指導上の留意点
導入 5分	1 振り返り 何を学ぶのか	<ul style="list-style-type: none"> 提示された衣服から、問題点を発見する。 問題点をもとに衣服の手入れの方法を確認する。 学習課題を把握する 	<ul style="list-style-type: none"> 「汚れ」に着目させるような教材の準備をする。 既習事項や今までの経験から見つけさせる。
	2 課題把握		
衣服のしみはどのように手入れしたらよいのだろうか。			
展開 35分	3 見通しの確認 1時間の流れはどうか	<ul style="list-style-type: none"> 教師の話聞き、本時の学習の流れを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> しみのない布で「水洗い」を実演し、作業の流れを確認させる。 「しみ」がついた布と、実際に「しみ抜き」をした布を提示する。 「しみ」を取り除く方法を3つ以上挙げて落ちると思う方法順に番号をつけさせる。 机間指導しながら、必要に応じて考える視点をあたえる。 <p>【評価】工夫・創造</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の意見を全員に発表させる。 グループで考えた方法で「しみ」を取り除く実習を行う。 <p>【評価】関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの発表を聞き、自分やグループの意見と比較させるとともに、よさを認め合わせたい。 教師が「しみ抜き」の実演を行う。
	4 方法選択 (モデル理解) どのようにやればいいのか	<ul style="list-style-type: none"> やり方をつかむ。 	
	5 個々の課題追究 見つけたい 確かめたい	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた「しみ」を取り除く方法を考える。 	
	6 能動的なかわり合い 広げたい 確かめたい 伝えたい	<ul style="list-style-type: none"> グループ毎に話し合い、「しみ」を取り除く方法を3つ選ぶ。 選んだ方法で実習を行い、比較検討する。 	
	7 課題解決 伝えたい 「なるほど」	<ul style="list-style-type: none"> グループ毎に結果を発表する。 発表を聞く。 「しみ抜き」の方法を知る。 	
終末 10分	8 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> まとめを聞く。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 衣服のしみは、しみの種類に応じた方法でしみ抜きをする必要がある。 </div>
	9 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価をする 	
	10 次時予告 向上心 学習意欲		<ul style="list-style-type: none"> 学習プリントに記入させる。 本時で学んだ「しみ抜き」の方法で実習を行うことを予告する。